

## 学習データで探る生徒の実態 第18回

### はじめに

前回の記事では、こまめな学習が知識の定着につながることをお話しました。今回は、知識の定着に効果的な学習スタイルについて調査しました。

### 復習すると忘れにくい？

「復習すると忘れにくい」と聞いたことがある人は多いと思いますが、それは本当なのか、本当だとすると効果はどれくらいなのか、ということが今回のテーマです。

atama+ではAIが各生徒の理解度を分析し、習得していると判断すれば合格となります。合格した後も単元の定着のために、「ウォームアップ」という復習中心の学習をAIがおすすめします。そこで忘れているとAIが判断すると、もう一度同じ単元の内容を学習することをAIがおすすめします。いずれのアクティビティもAIのおすすめを基に、生徒がどこを学習するか自分で選んで学習を進めていきます。

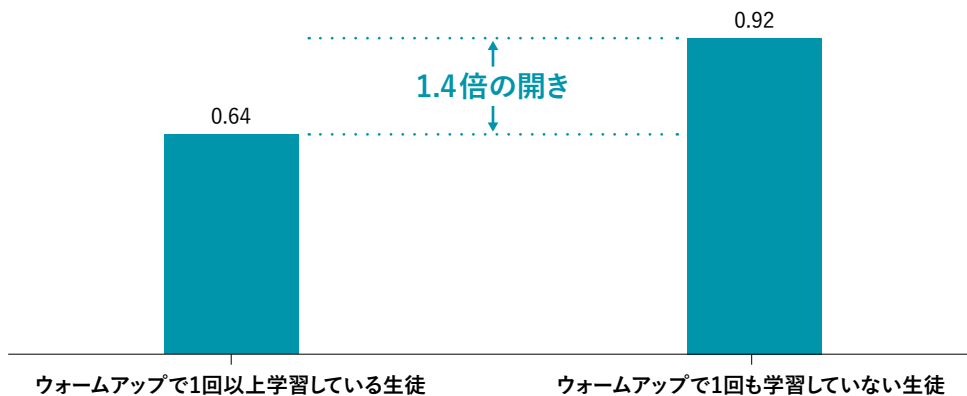
今回は「ウォームアップ」を選んでいる生徒と、そうでない生徒について、確認テストでの理解度を調査しました。

### 調査概要

- 抽出条件
- ・ 対象教科：全教科
  - ・ 対象生徒：2023年3月～10月に利用開始し、学習時間が10～30時間の中学1-3年生をランダムに10,000人抽出。
- 手法
- ・ 上記の生徒を対象に「ウォームアップを1回以上学習している」、「ウォームアップを1回も学習していない」の2グループに生徒を分類
  - ・ 確認テスト1回あたりの合格取り消しとなった単元数を比較

## ウォームアップで復習すると、1.4倍忘れにくい

**データ** 確認テスト1回あたりの合格取り消し単元数



「ウォームアップを1回以上学習」、「ウォームアップを1回も学習していない」の2グループに生徒を分けて、合格取り消しとなった単元数を調査したところ、ウォームアップで学習している生徒は、合格が取り消される単元数が少ないことがわかりました。その差は約1.4倍の開きが出ました。

**まとめ** 急がば回れ。復習することが長く覚えるコツ！

復習する生徒



忘れにくい

復習しない生徒



忘れやすい

この結果から、復習をすると忘れにくいことがわかりました。学びは一度だけではなく、繰り返し行うことで深まります。みなさんもatama+のウォームアップ等、復習をしてみてください。

補足:

- \*ウォームアップで学習している生徒を「復習する生徒」と定義しています
- \*ウォームアップの学習回数を基準にしてグループ分けしており、学習時間が伸びるとウォームアップを1回以上学習している生徒は増えていきます。そのため今回の調査では、一定の学習時間の生徒を抽出して分析しています
- \*確認テスト1回あたりの合格取り消しとなる単元数が少ないことを「忘れにくい」と定義しています

執筆者: atama+ EdTech研究所 所長: 森本 典生, データサイエンティスト: 内藤 純, 主任研究員: 池田 真一郎